



3,000羽をこえる
マガンがくる!

穴道湖と中海はなぜ

ラムサール条約の登録湿地には、どんな湿地でもなれるにはいくつかの基準をみたしていないといけません。穴道湖と中海はともに「汽水湖」です。汽水とは、海水と真水の濃度がちがうため、それぞれにちがった特色があります。

登録湿地になれたの?

わけではありません。国際的に重要な湿地と認められるためと中海はそれらの基準をたくさんみたしています。水がまざりあった塩分の少ない水のことで、穴道湖と中海です。



1,000羽をこえる
コハクチョウがくる!

穴道湖・中海は世界に誇れるすばらしい湿地

穴道湖 中海

穴道湖の塩分濃度は海水の1/10

中海の塩分濃度は海水の1/2



20,000羽をこえる
キンクロハジロがくる!

国際的な基準5

「水鳥が2万羽以上利用

穴道湖・中海どちらも、毎年4万羽

国際的な基準6

「水鳥の1種の総個体数の1%

穴道湖・中海どちらも、1万羽

すること」という基準に対して

をこえるガンやカモがくる!!

が利用すること」という基準に対して

ちかいスズガモがくる!



20,000羽をこえる
ホシハジロがくる!

国際的な基準7

「固有な魚類の種の相当な割合を支えている」という基準に対して

シンジコハゼの代表的な生息地!



シンジコハゼ

国際的な基準8

「魚類(貝類を含む)の成育場として重要な湿地。漁業資源の重要な回遊経路」という基準に対して

ヤマトシジミは日本有数の漁獲量を誇る!
穴道湖七珍は豊富な漁業資源の象徴!



ヤマトシジミ

2
ポケットガモ

登録湿地になるための基準

- 基準1 特定の生物地理区を代表するタイプの湿地、または希少なタイプの湿地
- 基準2 絶滅のおそれのある種や群集を支えている湿地
- 基準3 生物地理区における生物多様性の維持に重要な動植物を支えている湿地
- 基準4 動植物のライフサイクルの重要な段階を支えている湿地。または悪条件の期間中に動植物の避難場所となる湿地
- 基準5 定期的に2万羽以上の水鳥を支える湿地
- 基準6 水鳥の1種または1亜種の個体群で、個体数の1%以上を定期的に支えている湿地
- 基準7 固有な魚類の亜種、種、科の相当な割合を支えている湿地。また湿地というものの価値を代表するような、魚類の生活史の諸段階や、種間相互作用、個体群を支え、それによって世界の生物多様性に貢献するような湿地
- 基準8 魚類の食物源、産卵場、稚魚の成育場として重要な湿地。あるいは湿地内外における漁業資源の重要な回遊経路となっている湿地
- 基準9 湿地に依存する鳥類に分類されない動物の種及び亜種の個体群で、その個体群の1パーセントを定期的に支えている湿地

※ここで言う魚類には、魚の他に、エビ・カニ、貝類を含みます。